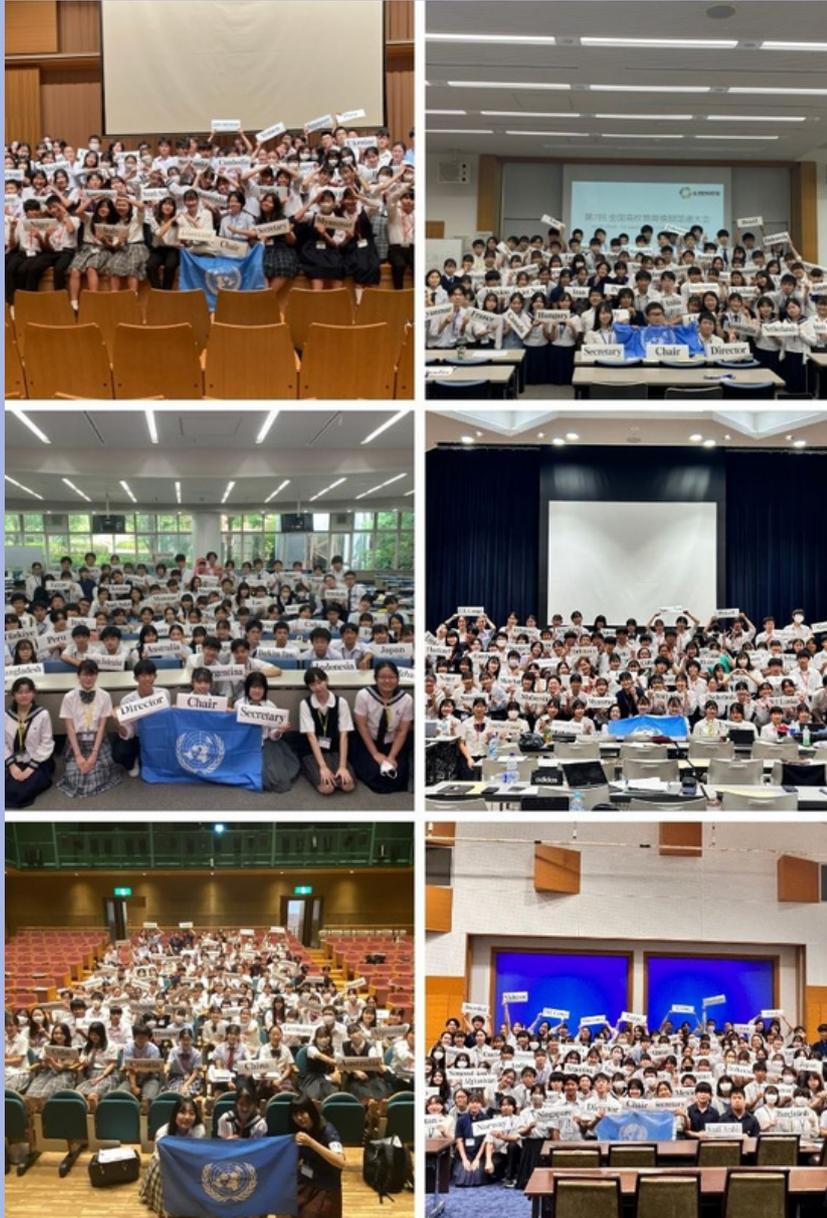


# 第7回全国高校教育模擬国連大会

All Japan Education Model United Nations

## 大会報告書



2023年 8月6日(日) ▶ 7日(月)

『教育の再考と新たな対応』



**AJEMUN**

# 目次

---

大会実行委員長より	2
大会セッションリーダーより	3
大会概要	5
受賞者一覧	6
各議場講評・受賞者コメント	8
参加者アンケート集計結果	19
大会事務局長より	22
参加校一覧	23
大会実行委員一覧	24
大会役員一覧	25
主催・後援・助成・協賛企業一覧	26
次年度大会の案内	26

# 大会実行委員長より

大会実行委員長 渋谷教育学園渋谷高等学校2年 谷田そよ

みなさんこんにちは。

実行委員長を務めました、渋谷教育学園渋谷高等学校2年の谷田そよです。

まずはじめに、準備期間を含む数週間お疲れ様でした。

大使のみなさんが円滑な会議運営に協力していただいたおかげで、大きなトラブルなく大会を無事開催することができ、とても嬉しく思います。そして、みなさん1人1人の、大会と真摯に向き合い全力で取り組む姿勢や心構えがあったからこそ、達成感に満ち溢れる思いで閉会を宣言することができました。開会式の基調講演では小松原茂樹様から国際問題に向き合う上で必要な心構えについて学ぶことができました。誠にありがとうございました。

当日の会議では、日本で暮らす者として学校に行ける当たり前の日常を疑い、大使という立場を超えた議論をしている様子が、完成した文言からも分かりました。このように教育という一見抽象的な議題に対して皆さんが大使としてだけでなく1人の人間として向き合ってください、嬉しかったです。AJEMUNに関わった私を含む全ての高校生が、会議を通して気がついた教育の価値と重要性を忘れず、今後も自分の環境を盲目的に享受するのではなく、その環境から得たものを社会に還元していければと思います。

全国から高校生が集まり、全て日本語で進行するこのAJEMUNほど包括的で多様性のある会議は他にないでしょう。どうか今回の経験を今後につなげ、ただ「楽しかった会議」ではなく、「思い出に残る会議」にしていきたいです。準備期間中や会議中の自分を振り返り、徹底的に自己分析をした人には、他の人には見えない景色が見えています。そして模擬国連に本気で向き合い、一喜一憂しながら思い出を作っていた人は、信じられないほどの成長を遂げていることでしょう。模擬国連を一度だけでは終わらせず、且つそれ自体を目的化することなく、今後の社会を生きる人間として模擬国連で得た学びを活かしてください。

模擬国連への向き合い方は人それぞれです。楽しみ方も人それぞれです。一方で、心の底から模擬国連に楽しんで取り組むためには、自分が模擬国連をやっている理由を自覚し、1つ1つの会議に目的意識を持って取り組む必要があります。そのため、会議後は自分との対話や仲間との対話を通して新しい自分を見つけていただきたいです。

本大会をきっかけに新たな楽しさに気づき、非日常的な出会いを経験し、今後の模擬国連人生における原動力が生まれたことを願っています。

最後に、このような貴重な機会を作ってくださった先生方に厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

そして大使のみなさん、改めまして、第7回全国高校教育模擬国連大会にご参加いただきありがとうございました。またお会いできることを楽しみにしています。

運営一同、皆様の今後の模擬国連人生が明るく輝くものとなることを願っています。

# 大会セクションリーダーより

フロントセクションリーダー 大妻高等学校2年 金子瑞紀

皆様こんにちは。第7回全国高校教育模擬国連大会でフロントセクションリーダーを務めました、大妻高校2年の金子瑞紀です。大会に参加して頂き誠にありがとうございました。開会式で壇上にて会場を見渡した時、「こんなにも沢山の方が来てくださったんだ」という思いが溢れ嬉しい限りでした。

フロントは一見目立つ役職ですが、そうであってはいけません。確かに大使側にとっては「あの議長 かつこいい！」と憧れを抱きますし私も実際そうでしたが、フロントはあくまで大使の皆様の会議のサポートをするだけであり、決して偉い訳ではないのです。

私事となりますが、今回私は初心者議場の議長を務めました。最初は何も模擬国連のことが分からなかった彼ら彼女らが最後には「もぎこっかー」の一員へとになっていく姿を見て感銘を受けたことを鮮明に覚えています。私自身、どのようなサポートが彼らの会議を有意義かつ実りあるものとなり、模擬国連を楽しいと思って貰えるかを真剣に考えられた機会でした。同時にプロシージャールの重要性を再認識させられました。いくら熱意があっても基礎が伴っていないとその気持ちが空回りしてしまうだけであり議場の混乱を招かざるを得ません。フロントの皆で会議前日に確認したことが功を奏したのだと思います。

完璧な会議進行など早々出来ません。失敗ばかりです。ただ大使参加の時と同様にフロントも頑張った分だけ報われますし、大使にその気持ちは伝わるのだと肌で感じました。我々フロントに求められている力は、経験よりも大使に寄り添う力だと思います。フロントと大使の間に信頼関係が生まれた瞬間は今でも忘れられません。

最後に素晴らしい思い出を作ってくくださった全ての方に深謝申し上げます。AJEMUNのことが大好きです！皆様またどこかでお会いしましょう！

運営受付セクションリーダー 逗子開成高等学校2年 宮山祥

こんにちは、皆さんお久しぶりです。この度は本大会にご参加いただき誠にありがとうございました。

まず、運営受付のメンバーは受付から開閉会式・交流会の運営、議場でのアドミニの補助まで、いろいろな場面で見かけたかと思います。すべてが終わった今では、この大会全体の役に立ったな、そして、我々実行委員もとても貴重な出会いをすることができたように、多くの出会いをお手伝いできたのかなと大変うれしく感じております。

また、交流会にご参加いただいた皆さんには、この場を借りて感謝申し上げます。オフラインでの交流会は、実に3年ぶりの開催であり、当日の3分の2を超える参加があるなか、私は大きな不安がありました。加えて、正直なところ初めのグループ分け時点で、会場にはまづい雰囲気は漂っていました。

しかし、その状態は、セクション担当顧問の岡先生をはじめとする運営メンバー、そして大使の皆さんの呼びかけで、一瞬にして明るい交流の場へと変わったのです。皆さんが声を出してくれて、なんとかまとまって、笑顔で話してくれて、だからこそ、誰が見てもわかるくらいとても盛り上がり、本当に良い会になりました。交流会の成功は、あの場にいた全員のご協力のおかげですし、皆さんだったからこそ、成功に終わることができました。

交流会に限らず、今大会全体がそうです。強固なまとまりを持ち、笑顔あふれていた実行委員、今回集まってくれた大使の皆さん、お手伝いいただいた大学生・各校顧問の方々。皆さんで作りに上げたからこそ、笑顔あふれる楽しい大会となったのだと感じます。

皆さんが今回得た「縁」が、今後のご縁につながることを祈るとともに、今回大会に関わったすべての皆さん、そして、運営受付セクションと一緒に活動してくれたほか6人のメンバーと、顧問のお二方に大きな感謝の意を表し、コメントとさせていただきます。

皆様本当にどうもありがとうございました。準備を含め、最高の3日間でした！

広報セクションリーダー 渋谷教育学園渋谷高等学校2年 多胡七香

皆さんこんにちは、広報セクションリーダーを務めさせて頂きました、渋谷教育学園渋谷高等学校の多胡七香です。

広報セクションでは、ホームページの作成と更新や公式インスタグラムの運営、大使募集の広報活動、メッセージボードの管理、そして閉会式でのエンディング動画の撮影・編集等を行いました。また、会議の記録として、会議中の大使の皆様の写真を度々撮影させていただきました。付箋を貼ってメッセージボードに参加して下さった皆さん、写真撮影に応じて下さった皆さん、本当にありがとうございました。

広報セクションは、会議の内容にはあまり関わらないセクションでしたが、大使募集の広報活動や当日のメッセージボード設置、エンディング動画の制作などにより、AJEMUNに参加された皆さんの、会議を楽しむ姿や全国のもぎこっかー達と交流する姿を一番間近で見ることができました。大使だけではなく実行委員も全国から集まっているので、広報セクションでも初対面のメンバー同士、オンラインミーティングを繰り返して準備を進めてきました。模擬国連で決議案を作ることとも似ていますが、学校も出身地も違う人と協力して1つのことを成し遂げたことは達成感にあふれていて、とても充実していました。

皆さん、会議は楽しかったですか？会議では嬉しい思いをした人もいれば、悔しい思いをした人や歯がゆい思いをした人もたくさんいたと思います。では皆さん、AJEMUNは楽しかったですか？皆さんが、会議の結果だけではなく、会議に参加したことやたくさんの人と交流することができたことも楽しかったと思っただけならば、実行委員としてこれほど嬉しいことはありません。

皆さんも、ぜひ今回のAJEMUNで得た経験や出会いを大切に、今後の模擬国連に活かしてください。そして、また来年AJEMUNで会いましょう！！

## 第7回大会概要

大会名 : 第7回全国高校教育模擬国連大会 (AJEMUN)

開催日時: 2023年8月6日(日)・7日(月)

開催場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

開催方法: 対面での会議

議場方式:ハーバード形式(全日本高校模擬国連大会と同じ方式)  
 議題 :教育の再考と新たな対応  
 使用言語:日本語  
 参加費 :3000円/人  
 主催 :全国中高教育模擬国連研究会(全模研)

### 【大会スケジュール】

1日目:8月6日(日)		2日目:8月7日(月)	
10:00	開会式	9:45	会議再開
11:00	会議開始	12:00頃	昼食
12:00頃	昼食	13:20	DR提出
15:15	WP提出	15:10	会議終了
16:30	会議終了・諸連絡	15:30	閉会式

### 【基調講演】

小松原 茂樹(こまつばら しげき)氏  
 UNDP(国連開発計画)マラウイ共和国常駐代表

#### 〈プロフィール〉

徳島県生まれ。東京外国語大学卒業後、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)大学院で経済修士号(国際関係論)を取得。(社)日本経済団体連合会事務局、OECD(経済協力開発機構)民間産業諮問委員会(BIAC)事務局出向を経て、2002年よりUNDP(国連開発計画)に勤務。本部アフリカ局カントリーアドバイザー、ガーナ常駐副代表、本部アフリカ局TICADプログラムアドバイザーを歴任、2019年6月より現職。2018年2月より2019年5月までニューヨーク日本人国連職員会長を務め、世界各地の国際機関で働く日本人職員とのネットワークを開拓。2019年6月にグローバル国際機関日本人職員会を設立し世話人に就任。マラウイ日本人国連職員会長を兼務。



## 受賞者一覧

### 受賞者一覧(一般議場)

#### 【A議場】

最優秀賞  
 Türkiye

渋谷教育学園幕張高等学校 橋本 照一郎・川島 梨聖

優秀賞		
United Kingdom	西大和学園高等学校	佐藤 陽・中農 陽向
Ukraine	浅野高等学校	深尾 龍伽・難波 壮太
実行委員特別賞		
Myanmar	桜蔭高等学校	北代 真央・竹岡 玲美
<b>【B議場】</b>		
最優秀賞		
Russian Federation	海城中学高等学校	尾関 裕宜・阿部 潤太
優秀賞		
Italy	東京農業大学第一高等学校	安倍 久遠・川口 駿
Afghanistan	渋谷教育学園幕張高等学校	山下 ゆい・藤木 陽世
実行委員特別賞		
Argentina	渋谷教育学園渋谷高等学校	川西 天・林 幸範
<b>【C議場】</b>		
最優秀賞		
China	渋谷教育学園幕張高等学校	高橋 咲希・本田 彩珠
優秀賞		
Pakistan	海城中学高等学校	浅井 輝・後河内 琢磨
Hungary	大妻高等学校	月橋 美琴・野田 葵
実行委員特別賞		
France	岐阜県立岐阜高等学校	橋本 昂志・荒深 愛心

## 受賞者一覧(初心者議場)

---

### 【D議場】

最優秀初心者賞

China

立教女学院中学校・高等学校 大橋 碧・中島 冬奈

優秀初心者賞

Chad

Peru

岐阜県立岐阜高等学校 浅井 爽音・三間 璃子  
鹿児島情報高等学校 高桑 彩花・湊脇 詩

実行委員特別賞

Japan

鳥取県立鳥取東高等学校 橋本 誉史・安東 諭史

### 【E議場】

最優秀初心者賞

DR Congo

昭和女子大学附属昭和高等学校 高木 菜々子・高橋 咲衣

優秀初心者賞

Indonesia

Russian Fedearation

岐阜県立岐阜高等学校 赤坂 優都・池田 亮大  
東京農業大学第一高等学校 石森 尋那・山本 泰士

実行委員特別賞

Thailand

東京農業大学第三高等学校 高橋 歩・佐々木 奈々

### 【F議場】

最優秀初心者賞

Afghanistan

山脇学園高等学校 塗師 星来・寺松 かえで

優秀初心者賞

Singapore

DR Congo

山形県立山形東高等学校 佐藤 嬉和・武田 篤郎  
清教学園高等学校 木村 碧・久保 あいり

実行委員特別賞

United States of America 宮城県仙台二華高等学校

岩渕 悠乃・金田 るん

# 議場講評・受賞者コメント

## A議場

【フロントより】

大妻高等学校2年 金子 瑞紀  
渋谷教育学園渋谷高等学校2年 谷田 そよ  
帝京高等学校2年 松浦 唯夏

まずはじめに、2日間会議お疲れ様でした。A議場のフロントとして2日間運営に携わり間近で議場を見られたことを嬉しく思います。

A議場は、大使のみなさんの積極的な会議参加という点でどの議場にも負けないでしょう。動議募集の際は毎回多くのプラカードが上がり、2日目冒頭のWPに関する質疑応答では、多くの質問が飛び交いました。使用言語が日本語ということもあり、すべての大使が発言内容を理解し常に自国が議場に貢献できる方法を模索していたように感じます。公式発言では、ユーモアを交えながらも教育の重要性や自分たちが享受している機会の「有り難さ」を再認識する必要性が叫ばれていました。このような共通認識が醸成されていたからこそ、コンセンサスという共通のゴールを掲げ議場全体が動いていたのだと思います。最終的にはWPは4本、DRは2本提出され、両方のDRがロールコール投票で可決されました。時間の制約がある中で効率的かつ包括的な議論を実現し、多くの国にとって納得のいくDRが提出されたことが素晴らしいです。そして、多くの大使が模造紙・ホワイトボードを用いて議論を可視化していて、グループ内でも丁寧な議論がされていました。

一方で、特に会議後半では多くの大使が取り残されていたように感じます。議場が安定していたからこそ、グループ内でもすべての大使が発言し状況を理解できるよう、個々の大使がもう少し余裕を持って議論を進めることが求められていました。特に1日目はコンバインを経て議論の輪が大きくなるにつれ、参加している国と取り残されている国が区別できるほど議論への参加度に差が生まれていました。同様に、WPに対する質疑応答でも、実際にUSBを提出した大使が主に質問に回答をしていました。WP/DRのスポンサーとして国名を入れる以上、文書の内容を理解することは大切なことでもあるので、今後は議論中に焦りすぎずより包括的な議論を目指していただきたいです。加えて、教育という議題の特異性に着目した会議行動が少なかったように感じました。教育の重要性は多くの機会に国際的に認識されており、対立軸も比較的少ない分野です。そのため、本会議ではより革新的で実現可能性のある成果文書を期待していました。他方、議論時間が短かったことや多くの国がコンセンサスに比重を置いていたこともあり、たとえ革新的であっても実現性の低い政策が多い印象を受けました。今後は自国の特異性を踏まえ、政策自体の独自性を見出して欲しいと思います。リサーチ段階から、自国が目指している世界や理想とする会議の方向性をイメージし、なぜ自国がこの政策を提案する意義があるのか、なぜこの政策でないとダメなのかと準備段階から自国の政策を深掘りしていくと、気がつかないうちに議題への理解が深まり、会議当日も自ずと取るべき行動が見えてくるでしょう。

総括して、非常に議論が活発なレベルの高い議場でした。今回の経験をもとに、更なる高みを目指していきましょう。みなさんの今後の活躍を楽しみにしています。

【最優秀大使コメント】

**Türkiye**大使 渋谷教育学園幕張高等学校 橋本 照一郎・川島 梨聖

A議場でTürkiye大使を務めました、渋谷教育学園幕張高等学校2年の川島梨聖と橋本照一郎です。まずはこの大会の実施に携わって頂いた運営の皆様、先生方、協賛して下さった皆様、そしてA議場で共に議論して下さった大使の皆さんに心より感謝申し上げます。

今大会は3年ぶりの完全対面開催ということもあって、模擬国連特有の熱気を感じられた、とても充実した二日間でした。オンライン期間によって、模擬国連自体もコロナ以前と変わった部分がありますが、このような大規模な会議で、コロナ以前と変わらない、むしろそれ以上の熱気を感じられたのはとても良い経験になりました。対面会議特有の、大勢の人前で話す緊張感やアンモデが始まる直前の高揚感には代えがたいものがあり、オンラインの期間から始めた身としては模擬国連の真の魅力のひとつであると実感しました。改めて、コロナ後の様々な制約がある中でこの大会の実現に向けて尽力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

我々がトルコ大使としてこの会議に臨むにあたって、一番の目標としていたのがより多くの人に好感を持ってもらえるような、優しい大使になることでした。二人とも性格上あまり強気な行動は取れず、今まで

はいざ議論の主導権を握ろうとすると他の大使に当たり負けてしまうことが多くありました。逆にそれを利用して、いわゆる「ガツガツ」した大使になろうとするのではなく、優しく丁寧の人に接することで、ひとりでも多くの大使に良い印象を持ってもらえるような会議行動を目指すことにしました。実際に会議中どれほどの大使に我々の思いが伝わっていたかは分かりませんが、二人ともそのような優しい大使になれるようにベストを尽くしたつもりではいます。とはいえ、時にはその「ガツガツ」が必要になってくるのが模擬国連です。強気な態度と優しい態度を使い分けること、言ってしまうえばメリハリをつけることが会議中我々が一番心がけていたことでした。

会議中は橋本が内政を、川島が外交を主に担当しておりました。内政では、各大使が積極的に自国の主張をしながらも、包括的な議論を行っているのが印象的でした。また外交でも積極的に外交会議を開いて情報共有をし、外交の大使一人一人がしっかりと議場全体の利益を意識して動いていたと感じました。何より大使皆さんがコンセンサスを目指し、誰も取り残さずに世界の教育問題を解決しようと白熱した議論をしていて、その成果として内容の濃い2本のDRが可決されたのではないかと思います。

今回の会議は模擬国連の楽しさを再認識できた会議でした。今まで緊張していても食欲はあったのですが、今回に関してはこの先の二日間が心配で、食欲がなくなるほど緊張していました。しかし、議場全体、大使全員が「教育格差のない世界」という一つの目標に向かって議論を進める楽しさをはじめとして、対面かつこれだけ多くの大使の方々と一緒に議論できたからこそ模擬国連の様々な楽しさを再認識できた気がします。

コロナ禍もいよいよ本格的に収束に向かう中、今回のように、模擬国連の魅力を心の底から感じられる会議がこれからも沢山あることを願いつつ、トルコ大使からの挨拶とさせていただきます。

二日間、楽しく素晴らしい時間をともに過ごしていただき、本当にありがとうございました。



A議場の皆さん

## B議場

【フロントより】

岐阜県立岐阜高等学校3年 安藤 諒  
聖心女子学院高等科2年 今寺 玲菜  
茗溪学園高等学校2年 糸井 菜々穂

第7回全国高校教育模擬国連大会B議場のフロントを務めさせていただきました。

以下、議場の講評を記させていただきます。

今会議では、先進国1つ、途上国2つ、さらに中立1つというようにグループが形成されていました。各グループ、政策を深掘していきながら議論を進められていました。また、2日目のDR提出直前の途上国間のコンバインにおいても、時間が限られていたにも関わらず、多くの大使が精力的に動いたことにより、円滑に行われたと思います。

模擬国連における大使の理想像はどのようなものでしょうか。

国益を守りつつも国際益を重視し、且つ他国の主張に耳を傾けて議場にいるすべての国の国益を満たすために議場全体を見渡し、能動的に行動する姿勢は美しいと思います。「誰1人残さない会議」を創ることが模擬国連の核であり、楽しさであるのだと考えます。会議における外交の役割に着目して以下のことを述べさせていただきます。良き外交であるためには、議場全体を走り回って他の外交よりも情報を掴むことではないことを再確認していただきたいです。最も大事なことは、会議の過程において、自分が必要不可欠な存在になっているかどうかです。その観点から考えると、外交会議を開くことは素晴らしいのですが、もし外交会議で話し合ったことがグループ全体に共有できていない場合、それは外交だけで話し合いが完結してしまい、コンセンサスに寄与していないことになってしまいます。外交の役割とは、外交同士の情報伝達に終始することではなく、コンセンサスを実現するためには何ができるか、さらには国際社会全体で一つの問題解決のために行動を起こせるのかを常に模索し続けることであると考えます。一人一人何ができるか追求していきながら会議に臨むことで、互いに高め合いながら、議論できると信じています。

今会議を経て、「模擬国連の意義」について改めて考えることができました。会議では、1カ国1カ国の色を尊重しつつも、国際社会全体で共通のゴールを達成していく上で共通のステップ、政策を考案していくことが求められています。そのような状況で如何にして各国のオリジナリティを表現していくかが肝になってくると思います。模擬国連会議において、協力体制というワードが叫ばれると思います。確かに、協力体制を築くことは非常に重要であると思います。一方で、協力体制は、各国が互いに支え合うことで成立するというのも忘れてはなりません。国際社会は一つの大きなコミュニティであり、すべての国が欠かせない存在です。有効性のある政策立案に必要な不可欠なツールである対話。今会議を通して、持続的な対話の機会を促進することで、新たな可能性が生み出されると身をもって感じることができました。

今大会の実施にご尽力くださったすべての方々へ心より感謝申し上げます。そして、今会議での学びを生かしつつ、平和な国際社会を構築していく担い手として、今後も精一杯努めてまいります。

## 【最優秀大使コメント】

**Russian Federation**大使 海城中学高等学校 尾関 裕宜・阿部 潤太

今回、AJEMUN大会のB議場で最優秀賞を受賞させていただきました、ロシア大使の尾関裕宜と阿部潤太です。

「教育とは世界を変えるために用いることができる最も強力な武器である」

これは人生を懸けてアパルトヘイトに立ち向かい、平和な世界を実現するために戦ったネルソン・マンデラ氏が残した言葉です。彼が言うように、教育は世界をより良い方向に進めるための鍵であるということを私たちは今会議で改めて感じる事が出来ました。

現在、教育は重大な国際問題になっています。今回私たちが担当したロシアのウクライナ侵攻を始め、紛争や貧困などが理由で教育を受けられない人々が大勢います。そんな中、複雑な事情を抱えている国を担ってこそ、よりこのコンセンサスが重要となってくる議題において、自国だけでなく、各国が世界のために歩み寄ることの重要性に気づくことができ、できるだけすべての大使を巻き込むことができるような議論を意識できたと感じています。

上述した通り、今回私たちが意識したことはできるだけすべての大使と議論を行うということです。特にロシアという国の立場にこだわることなく、積極的に様々な国と意見交換や政策の交渉などを行いました。ロシアとして重点的に議論したのは、「紛争中における教育」です。国益的に、非常にセンシティブな論点なので、事前にペア同士で、国益と国際益を吟味した上で、どこまで妥協できるのかを模索しました。結果的に、その妥協案が議場内で認められたことは、今回最大の成果であると感じています。ロシアという国が、少しでも「教育問題」の解決のために国際社会にコミットできていると実感しました。

私たちは、担当国がロシアということが分かったとき、正直に言って、頭を抱えました。どうしても他国との対立を避けられない国であるため、他国の大使と「児童教育」に対してどこまで深く議論できるのかが予想できなかったからです。しかし、今回は議場内のどの大使も、ロシアを拒絶することなく積極的に議論してくださったので、すべての大使を巻き込んだ議論が出来ました。B議場では、二つの決議案が提出・採択されましたが、これも議場の大使が団結した形で問題に取り組もうとした結果だと思えます。

今回の会議がとても刺激的と感じた方も多いと思います。私たちもその一人です。今回のAJEMUNでは、全国から大使が集まったため、普段私たちが対面では出会えないような人たちと様々な議論を行い、有意義な時間を過ごすことが出来たと感じています。

最後に、今会議に参加するにあたって、会議への参加に協力してくれた先生方、この有意義で貴重な会議を主催してくれた運営の方々、互いに励まし合った海城グローバル部の仲間達、そしてB議場において、共に有意義な議論をしてくださったすべての大使の皆様、改めて、本当にありがとうございました。別の会議でも一緒することを楽しみにしています。



B議場の皆さん

## C議場

【フロントより】

桐蔭学園中等教育学校2年 中村 向我  
浅野高等学校2年 藤木 惺也  
岐阜県立岐阜高等学校2年 作村 璃乃

C議場の皆さん、こんにちは。会議の準備等お疲れ様でした。フロントからの総評となります。ぜひご覧ください。

<事前準備>

ほとんどの大使の方が、PPP/NP共にしっかりと取り組んでくれたように思います。中にはぎっしりと埋め

た状態で提出してくれた大使もいました。上手く書けなかった方も問題ありません。これから先、模擬国連会議はたくさんありますし、AJEMUNは来年も開催されます。是非再チャレンジしてください。

#### <1日目>

最初の「Motion!!!」はすごく盛り上がっていて、議場内に声が響き、驚きました。メモ回しも活発でした。多くの大使が封筒にメモを入れていました。メモ回しが活発ということは会議で活躍するぞ！という人が多いということです。これからも続けてください。

#### <2日目>

フロントからWPの総評を出しましたが、多くの大使の方が耳を傾けてくれました。DRに関しては2本提出されましたが、そのうち1本はスポンサー確認不足でfailとなってしまいました。内容面ではとてもしっかりとしていたので、非常に残念でした。強引な議論をしてしまうと、誰もついてこなくなります。これは模擬国連だけではないです。以後、気をつけましょう。これからも皆さんの活躍を全力で応援していきます。またどこかでお会いしましょう！

#### ・議長より

今回の会議では、多くの大使が盛んに意見を述べる事ができていました。それはとても素晴らしいことだと思います。話し合いを進める速さは良かったと思いますが、WP・DRの提出時間が迫るほど、リーダー国+いくつかの国しか話せていない状況も多く見受けられました。グループ内にいる全ての大使が「常に」進行している議論の内容を自分で説明できるくらいに理解している状況を保つことは、会議を進める上で必須事項だと思います。

これができないと、グループに属している国の離反を招きやすくなってしまいます。そこで、リーダー国の大使の方は、意識的にグループにいる全ての大使の人に「今の話を理解できているのかどうか」を逐一確認する癖をつけていただきたいと思います。また、こういった国ではない人も、他国の政策であったとしても、聞き流すのではなく、「国際益をもたらさない(一部の国が一方的に不利益を被ってしまう可能性がある)」と思った政策などには積極的に意見を出していただきたいと思います。

#### ・副議長兼秘書官より

今回の会議は運営から見て、とても見応えのある面白い会議でした。会議をよりよいものにするために、改めて大使の皆さんに考えてみてほしいことがあります。スポンサー国に入るということは、完璧にDRなどの文書を理解している状態であること。リーダー国でなくても、文書についての質問に同じように全員が答えられるようになっているはずですが、ディレクチェックの時ではフロントからの質問に答えられなかったり、リーダー国の大使しか文書が完全に理解出来ていなかったりする印象を受けました。本来、そのような状態ではスポンサー国に入ってはいけません。

またいくつかのグループでは、リーダー国がメインで議論をしており、周りにいる大使がそれに頷き同意するような姿が目立ちました。リーダー国であるならば、もっと他の国の大使の考えを引き出し、より深いWP・DRを作るように努めるべきですが、その動きが少なかったように思えました。

1日目に提出されたWPは特に、内容が薄かったと思います。時間が無い中でも、色々な大使の意見を取り入れることで、より深いDRが完成するのではないのでしょうか。

#### 【最優秀大使コメント】

**China**大使 渋谷教育学園幕張高等学校 高橋 咲希・本田 彩珠

こんにちは。C議場で中国大使を務めた、渋谷教育学園幕張高等学校の本田彩珠と高橋咲希と申します。初めに、コロナ明け初めての大規模な対面会議を開催して下さった大会実行委員の皆様、中学生や大学生のアドミニの皆様や先生方、また、素晴らしい会議を作り上げた大使の皆様に、心から感謝を申し上げます。

この会議は、二人とも初の公式大会だったため、いろいろな不安を抱えて挑みました。それに加え、時間がとても限られていたので、どのようにスムーズに議論を進められ、どのようにコンバインを進めコンセンサスを目指していくのかをペアで一番意識しました。

しかし議場では、1日目からグループによって進み具合が極端に違い、混乱が多かったと思います。コンバイン作業もなかなかスムーズには行かず、結果として5グループ中2グループのみの意見しか反映されていない決議案しか提出できず、コンセンサスで決議が可決されなかった事はとても悔やまれます。それでも、時間が無い中で各国大使がそれぞれの現状や国益に基づき、互いを尊重しながら最後まで政策と向き合い、熱い議論を交わせたことはとても大きな意味があったと思います。

また今回の議題であった教育については、会議が進むにつれて、教育の水準や子供たちの置かれている状況は国によって千差万別であると感じました。自分達からは遠い出来事だと思っていた紛争や児

童労働、児童婚などで学校に通えない1億2400万人の私たちと同年代やもっと小さな子供達がいるのだと、リサーチをし、様々な国の大使と話す中でその悲惨な現実を強く実感しました。私たちが毎日学校に通い、模擬国連を楽しめていることは決して当たり前なことではなく、とても幸せで恵まれていることだと気付かされました。

この会議を通じて、模擬国連は改めて素晴らしいものだと感じました。全国各地の高校生と交流し、社会問題についてそれぞれの国の立場から深く議論できるのが模擬国連の最大の魅力だと思います。今回の会議は架空の会議でした。実際にこの会議を国連でやったらきっとまた違う結果になっていたと思います。しかし、国によって立場はバラバラで時に対立することもある中、それぞれがリサーチを元に交渉し、大使の柔軟な発想で色んな政策を考え、妥協点を自分達なりに模索していく、これは「模擬」の国連だからこそ魅力だと思います。

自国のリサーチを行い、国について深い理解を得て、経験回数を重ねていくほど国際性が養われると思います。次世代のリーダーである私たちにとって、国際的な意識は必要不可欠になります。この国際に関する意識を高める鍵こそが、模擬国連だと、我々は感じました。模擬国連を通じて、国際情勢・国際問題などに興味を持ち、より意識できる人々が増えていく事を願っています。

今回の会議は、改めてお疲れ様でした。皆様とまたお会いできる事を心から願っております。



C議場の皆さん

## D議場

【フロントより】

帝京高等学校2年 延山 星利奈  
大妻高等学校2年 金子 瑞紀  
中央大学杉並高等学校2年 中原 由寿栞

初心者議場ではありましたが、工夫された政策の提示や議論のずれを修正できる大使が多く、模擬国連のセンスを感じられる会議となっていました。議場としてはWPが4本、DRが2本受理されました。しかしWPにもDRにもスポンサー国被りが見受けられたため、WP段階では1本不受理に致しました。いずれにおいても大使同士の確認不足で生じたミスでした。文書提出前は時間も無く焦りがちになりますが、「全スポンサー国の同意に基づいて出来たもの」がWP、DRである以上本来であればそのような間違いはあってはいけません。実際DRの投票前にWPのテクニカルミスからグループでの合意がとれていない文言が記載されており、DRとして受理してよいか、という点で揉めました。DR提出後のアンモデで詳しく話し合っただけで済んだと思う一方、予めそのようなミスは防ぐべきであったと思います。次回以降は文書提出にあたって丁寧な行動を心がけて欲しいと思います。

会議経験の差から、議論の内容をあまり理解できていないように見受けられる大使もいましたが、多くはなかったように思います。1点会議に置いていかれないためのコツとして、基本資料の読み込みとPPPやNPの作成に力を入れて欲しいと思いました。重ねて特にWP提出の際に体裁がほとんど整っていませんでした。会議の参加の仕方は最初ならば分からなくていいですし、「習うより慣れる」を重ねていく中で掴むものだと思います。ですが基礎を大切にすることは今後の会議に参加する上でも必須事項ですから手を抜かないようにしましょう。人前で話すことに抵抗を感じる人もいますが、最初に勇気をもって話してみれば案外そのあとも話続けられます。最初の一步をどうか踏み入れてみて下さい。アドバイスとして、「その政策は具体的か、実現できるか」を考えていくと自然と議論が生まれていきます。今回の会議において、フロントは対立点が大きくない「教育の再考」という議題だからこそより具体的な議論がなされることを期待しておりました。それにあたりこの議場の素晴らしかった点はフロントのアドバイスを参考にして下さったことです。2日目ではWPでフロントに修正された内容を初めとして、主に支援内容を多角的に見直していたことが良かったなと思います。2日目を契機に議題に求められているものは何かをきちんと見定められる大使が増えた点も素晴らしかったです。声を張ってグループをまとめる大使もいれば、他のグループの様子を見て全体を俯瞰しようとする大使もいて1人1人がその場に適切な行動をしていました。今後自分に出来ることを探す、ということは大きな鍵になりますので是非自分の特性を探して行って下さい。

最初はモーションも上がらずアンモデも静かな議場でしたが最後には全員がモーションを出しており、皆でこの会議を作ろうという意識が見えて凄く感動しました。2日間での成長度はD議場が1番だったと思います。「自分にできることはなにか」を模索して憧れられる大使へと近づいて行って下さい。皆様の益々のご活躍をお祈りしています。

#### 【最優秀初心者大使コメント】

China大使 立教女学院中学校・高等学校 大橋 碧・中島 冬奈

今回、D議場で中国大使を務めました、立教女学院高等学校1年の大橋碧と中島冬奈です。まず初めに、今回の会議の開催に向けて尽力して下さった全ての大会実行委員の方々、先生方、また2日間にわたってとても濃い時間を共有した同議場の大使の皆様にご心より感謝申し上げます。

私たちが今回の会議で最大の目標としていたことは、「積極的に交渉に参加する」ということです。模擬国連は受け身の姿勢で参加しては、その醍醐味を味わうことが出来ません。そのため、積極的に他国の大使の方と協議をする、ということを目指して掲げていました。大会1日目、午前中のアンモデで意見が近い国の大使の皆様とWPを提出する方向で話が進んだため、お昼休憩の後からペア内でそれぞれの特技を生かし、交渉担当とWP作成担当に分かれて作業を進めることにしました。この戦略が功を奏し、WPを提出することが出来ました。2日目では、前日のWP提出後に始まった他グループとのコンバイン交渉の続きを行いました。ここでも交渉担当とDR作成担当に分かれたことで、効率的に会議を進めることが出来たのではないかと思います。最終的に、DRを提出することは出来ましたが、スポンサー国以外への説得を思ったように進められず、議場の過半数の支持を得ることが出来なかったため、私たちのDRは否決されてしまいました。しかし、スポンサー国の大使の皆様と積極的に意見を交わし、いかに自分たちの国益を守りながら国際益も追及していけるかを考えたこの2日間は、本当にかげがえのない時間でした。

模擬国連の魅力は、「日本人」としてではなく、その国の大使としての視点で世界の出来事を捉えられるところだと思います。模擬国連自体の経験値もまだまだ浅く未熟な私たちですが、同グループの皆様にご支援いただき、今回このような賞を受賞させていただくことが出来ました。この経験を糧として、今後の模擬国連活動に取り組んでいきたいと思っています。



D議場の皆さん

## E議場

### 【フロントより】

聖心女子学院高等科2年 室井 幸  
さいたま市立大宮国際中等教育学校5年 丁 思允  
さいたま市立大宮国際中等教育学校5年 森地 陽菜

### 〈会議監督より〉

2日間の会議、お疲れ様でした。そして受賞された大使の皆様、おめでとうございます。  
E議場は参加者の大半が初心者でしたが、会議が進行するにつれ大使たちの動きが積極的になり、結果2本提出されたDRがどちらも受理となったのは、大変素晴らしいことだと思います。  
ただ、会議進行をしていく中で、アンモデ中の一部大使の行動が気になりました。所属グループが大規模となり、議論についていけなくなってしまう場面があるのは仕方がない事かもしれませんが、その際に議題と関係のない話をするのは少し違うのではないのでしょうか。議場は今どんな状態なのか、自国の国益は反映されているか、国際益は守られているのか、など考えるべきことはたくさんあると思います。今後は一国の大使として相応しい行動ができるよう、気をつけて頂けると幸いです。  
対面で全国から来た同世代の大使たちと議論を交わしたこの2日間は、皆様の今後の糧となればな、と思います。改めて、2日間本当にお疲れ様でした。  
最後に、今大会の開催に向けて尽力してくださった先生方、後援・協賛各社の方々、大会実行委員の皆様、そして今大会に参加してくださった大使の皆様、E議場フロントよりこの場をお借りして心より御礼申し上げます。2日間、本当にありがとうございました。

### 〈議長より〉

この度はAJEMUNに参加していただきありがとうございました！半年ほどの準備期間を経て会議が無事に終わり、ほっとしながらも名残惜しい気持ちでいっぱいです。  
今会議は100人あまりの全ての大使が活躍できる会議だったのでしょうか。会議中には責任感が強く自国だけで引っ張ってこうという大使達が見受けられました。数人で完結させるのではなく、大使全員が会議で活躍できたと実感できる会議を作っていけるとよいと思います。  
また、模擬国連では意味を持った会議行動が来ているのか、常に考えることが大切です。会議中には様々な選択の場面に会います。そこで「今アンモデをする意味とは」「この政策を提案する意味とは」など考えながら行動することが、大使として自信を持つことに繋がるのかなと感じました。模擬国連で、素敵な大使の皆さんと先生方、実行委員の皆さんに出会えたことに感謝しています。

### 〈副議長より〉

大使のみなさん、2日間の会議本当にお疲れさまでした。私自身、今回初めてフロントとして会議に参加し、至らない部分もあったと思いますが、フロントの会議進行や指示に協力してくださった皆様のおかげで円滑に会議を終えることができました。

さて、E議場の会議では、グルーピングやWPの取り掛かりなど議論の進度が全体的にゆっくりだったと感じました。そのため、各国が2日間を通した議論の流れを意識して会議行動を取ることで、限られた時間の中でさらに積極的で有意義な議論ができると思います。また、動議を募集する際やWP、DRに関する質疑応答の際に、一部の大使のみが積極的に発言している様子が見受けられました。自国がスポンサーとなっているWP、DRについては、スポンサー国も積極的にその方針を議場全体に発信してほしいと思います。一方で、会議中盤からは、ペア間で外交と内政の二手に分かれ、議論を進めようとしている大使もいらっしゃいました。リーダー国に任せっきりせず、自国の考えを発信できそうなところから、自分たちがやりやすい方法でどんどん議論を始めていってほしいなと思います。

会議だけではなく、調査やペア間での話し合いなど、準備期間も大変だったと思います。改めて、AJEMUNに参加してくださりありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

### 【最優秀初心者大使コメント】

**DR Congo大使 昭和女子大学附属昭和高等学校 高木 菜々子・高橋 咲衣**

E議場でコンゴ民主共和国大使を務めました、高木菜々子と高橋咲衣と申します。まず初めに、この会議を作り上げて下さったフロントをはじめとする運営の皆様、先生方、そして二日間試行錯誤しながら共に濃い時間を過ごした大使の皆様、心から感謝申し上げます。

本会議のテーマは「教育」でしたが、調査や討論を通じて教育問題の中でも人権や男女格差、児童労働等の要因が厚い層となっていることに気づきました。実際、会議中、全く別の観点だと思っていた他国と自国の考えが一つとなり、点を結び続け、気付けばDRとして全員の意見が一枚の紙に。しかし、残念なことに、論点2の自国の政策を入れることはできませんでした。次の会議では様々な背景がある各国の課題を理解しつつ、妥協点を探り、粘り強く交渉していきたいと考えます。まずは日々の新聞やニュースなど身近なところから、諸国が置かれている現状の理解に努めていきたいと思います。

思い返せば、私たちが中学一年の時、模擬国連で先輩方が大使や議長として活躍している姿に憧れの気持ちを持ったことが模擬国連を始めるきっかけでした。私たちの学校は「ユネスコ・スクール」で、様々なSDGs活動を生徒主体で取り組む「SDMs」という有志グループがあります。私たちはSDMsで、中学一年の学園祭で他校の中学生を招いて、「国連カフェ」会議を開催しました。世界の諸問題の解決策を話し合いを通じて練り上げていく模擬国連は、「心に平和のとりで」を作るユネスコ・スクールの活動にふさわしいものだと考えます。私たちは、その後、1年間のカナダ留学を経て、対面会議には今回初めて参加しました。他校の大使たちに圧倒されながらも、私たちの経験して来たことに自信を持って発揮していくしかない自身を奮い立たせ、無我夢中で討論していました。

最後となりましたが、中学の時から様々な学びの場を提供して下さいました昭和女子大学附属中高部の先生方に心より感謝申し上げます。今回頂戴した賞は、中高部の先生方はじめ、様々な方々からのご支援とご指導の賜物です。本当に有難うございました。



## F議場

### 【フロントより】

田園調布学園高等部2年 山盛 真柳  
 茗溪学園高等学校2年 依田 葉月  
 帝京高等学校2年 奥島 誉陽

第7回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)の開催にあたって、たくさんのご支援ありがとうございました。今回、F議場のフロントを務めさせていただきました。私自身も会議経験は浅く、F議場のフロント全員が初めてのフロントであったため、会議の進行にあたって日本語で行う会議の場合どのような言い回しをすればいいのか、それぞれが過去に参加した模擬国連の議場の雰囲気やフロントの方々を思い出しながら会議を進めました。F議場は初心者議場ということで、大使のほとんど全員が今回が初めての会議とのことでした。大使の皆さんが戸惑いながらの様子にこちらも「会議進行を間違っていないか？何か手続きを飛ばしてしまっていないか？」不安になるときもありました。また、初心者議場ではPCを持っていない、USBを持っていないという大使が多く見受けられました。そのため、事前に会議細則に記載していたことも含めスマホの利用など、この権威ある全国大会でどこまで許容するか、その判断の難しさにも直面しました。

一日目の議場はとても初々しく、控えめでおとなしいような印象でした。アンモデの時のような動きをすればいいのかわからない大使も多く、「どのグループも自国の掲げる政策と少しずつ違うからどこも入れない。」という声も聞かれました。模擬国連の場では、自国の利益を守りつつ他の国とともに解決策を模索していくものであるから、自国と全く同じだなんて見つからないもあって、一定の協調性を保ちつつ、自国の主張もはっきりとしていく必要があると思います。私たちフロントも再度「模擬国連」という場について考え直し、会議行動やWPについてのフィードバックをして一日目の会議が終わりました。

会議が進むにつれてアンモデ中、積極的に他の大使に話しかけ、いろいろなところで話し合いが盛んに行われるようになりました。しかし、WPやDR作成国が決まるとスマホをいじりだしてしまったり、模擬国連の雰囲気を全く知らない人がほとんどであったりと、この議場ではお互いの意見をすり合わせる事ができず、声をあげることでできる大使の発言のままに話し合いの場が流れていく場面もありました。模擬国連の雰囲気がわからない人の多い初心者議場ではその流れを止めようとする大使はマイノリティー。そのため、議場の流れが思う様にいかず、涙を流す大使もいましたが、フロントからの呼びかけを受けてそれぞれが会議に対する態度を見直し、二日目の午後には用紙の半分にも満たないWPから一転、しっかりと前文と主文の対応もあり文量もある立派なDRが提出されました。

フロントからの会議中のアドバイスやフィードバックを受け止め、すぐに行動に移してくれた大使の皆さんや議場に付いてくださった先生、OBの方のおかげで無事に二日間の会議を終えることができました。そして、「全国大会の議長」という重責に会議の途中投げ出されたいくなることや、辛いこともありますが、AJEMUNは私の中で圧倒的に一番楽しくて印象深い、とても有意義な大会になりました。今回の会議をきっかけに模擬国連により興味を抱く人が増えると嬉しいです。ありがとうございました！

### 【最優秀初心者大使コメント】

Afghanistan大使 山脇学園高等学校 塗師 星来・寺松 かえで

第7回大会F議場でアフガニスタン大使を務めさせていただきました、山脇学園高等学校2年の塗師星来と寺松かえです。

まず初めに、第7回AJEMUN大会開催ために尽力してくださった大会実行委員の方々、スポンサーの皆様、そして同じ議場で大使として会議に参加してくださった皆様に心から感謝申し上げます。

今回の大会でまず私たちが大切にしていたことは『相手の意見をしっかり肯定し、受け入れつつ自国のスタンスを持ち続ける』ということです。自国の国益だけを考えるのではなく、他国の意見も尊重することで素晴らしい意見に巡り合うことができます。

塗師は過去に1度他大会の模擬国連に参加経験があったものの、寺松は初めてだったので大会前にしっかりと事前ミーティングを何度もし、今回の議題である『教育』について深く考え、自国だけでなく他国の政策やスタンスをリサーチしました。そこで当日の動きや協賛できそうな国を前もってリストアップしました。

当日はまず支援国と被支援国に分かれスタンスを共有し、その後利害関係の一致する国同士で集まりました。最初は意見共有をするだけで終わってしまい、なかなかグループにまとめることができず、難し

かったのですが、賛同してくれる国を少しずつ集め、一日で23カ国のスポンサー国を得ることができました。数が多くなるにつれて各国の大使と連携を取るのが難しくなっていたのですが、外交をする役割とグループをまとめ、WPを作る人で役割分担をしたことが成功した理由だと思います。この2日間は私達にとって忘れられない経験となり、大使の皆様一人一人が国を代表していることを誇りに思い、また世界に自分たちがどう貢献できるか考え、互いの主張を尊重しながらより良いものへと向かうことができました。

また、本大会を通してアフガニスタンという国を深く知ることができただけでなく、この国が大好きになりました。

模擬国連は、日本だけでなく新たな母国のようなものができる気がします。今後は、この会議で見つけた新たな課題や自分たちの弱点に向き合い、一つずつ乗り越えていきたいです。

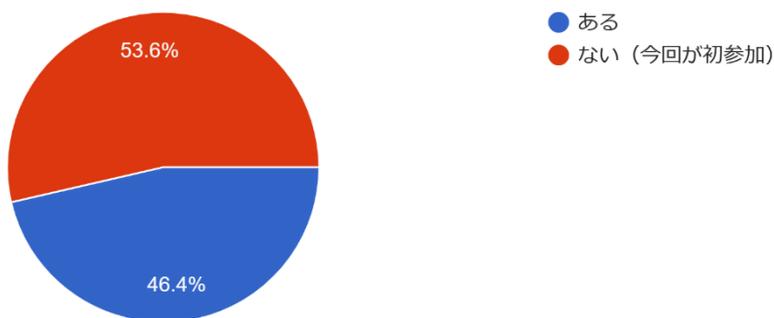
最後に、同じF議場で議論して下さったすべての大使の皆様、本当にありがとうございました！また別の会議でお会いできることを楽しみにしています。



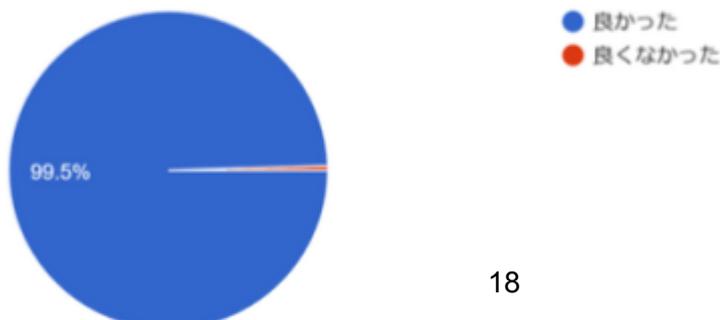
F議場のみなさん

## 参加者アンケート

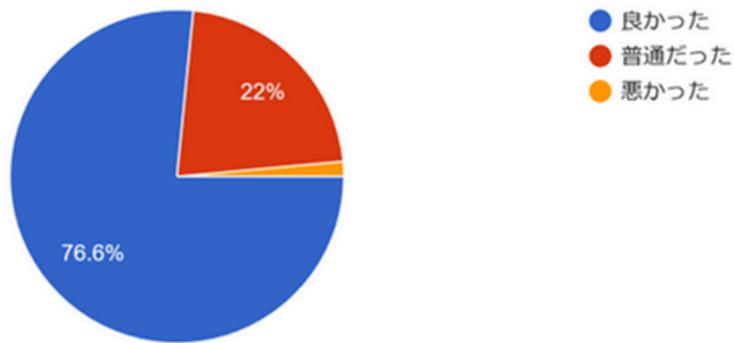
Q1 あなたはこれまでに模擬国連に参加したことがありますか？



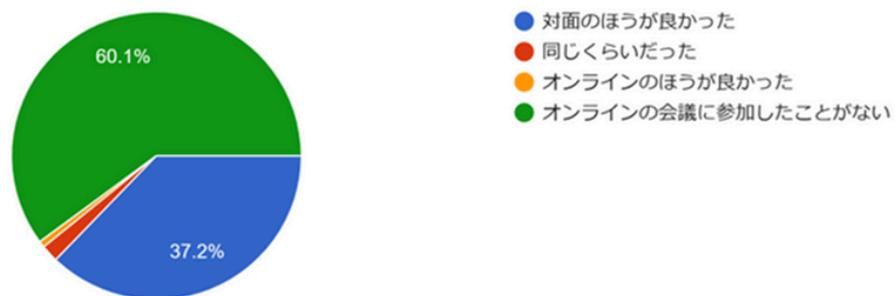
Q2 今大会に参加してよかったですか？



Q3 大会資料(BG・会議細則・HPの情報など)は分かりやすかったですか？

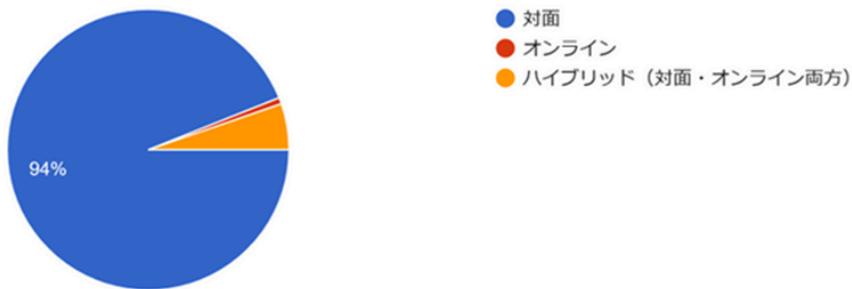


Q4 今大会ではAJEMUNは2大会ぶりに全て対面で実施されましたが、オンラインで行う会議と比べてどうでしたか

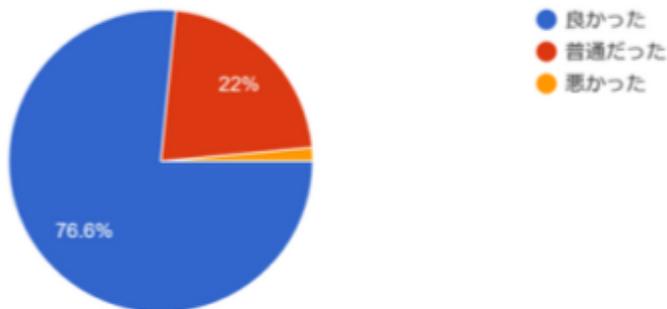


うでしたか

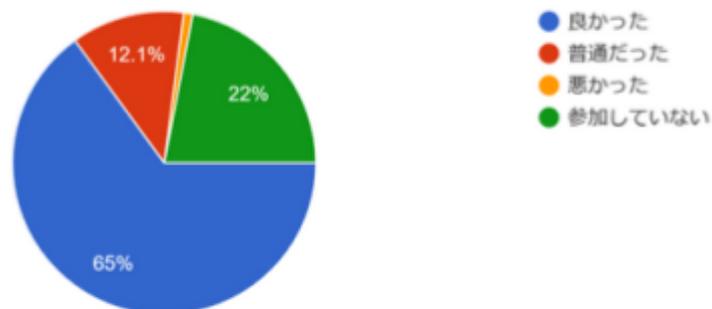
Q5 今後もAJEMUNは対面での開催がいいですか？



Q6 今大会の運営は高校生が実行委員となって行われていますが、実行委員の運営はどうでしたか？



Q7 交流会はいかがでしたか？



【】

- ・開会式や交流会のプログラムが充実していた。
- ・事前に会議の進め方がのったものがサイトに載っており、頭に入れやすかった。
- ・初めての参加でわからないことが多々あり、不安だったが実行委員の方々が分かりやすく説明していただいたため安心して会議に臨むことができた。
- ・今まで知らなかった海外の教育に関する状況を知ることができた。
- ・実際の国連、国際会議のような雰囲気、実感があり、高校生が行ったとは思えないくらいクオリティが高く、またそれを運営する高校生、またそのサポートを行っていた方々もレベルが高かった。
- ・初心者議場でしたが、特に滞ることなくみんなの意見を取り入れながらやることが出来てよかったです。フロントの方々も優しくアシストして下さったのでやりやすかったです。
- ・雰囲気がよく、朗らかで穏やかな会議でした。時折笑いが起こるような会議になり、大使の協力的な姿勢が大変よく見られ、貴重な体験をさせて頂きました。
- ・北海道から来て、最初で最後の関東オフライン会議になるであろう会議がAJEMUNという国内最大規模の大会にできてよかったです！
- ・経験者との会議では自分たち初心者に近い者が引っ張られる感じがあったけど、今回は自分たちが引っ張っていこうと頑張れた。
- ・議場以外の場面で生徒たち同士が仲良くなって話している姿が印象的でした。会議後、自分たちで握

手をしているのがとても良かったです。

#### 【改善点や問題点について】

- ・初心者議場と一般議場だけでなく、参加回数でより細かく設定してほしいと思いました。
- ・中心として立ち回っている国の大使さんたちに任せきりになってしまった。
- ・勝負を意識しすぎて、協力して問題を解決するという意識が抜けていた気がします。
- ・DRの文言作成時に、文言を作成している大使以外の大使に何をしてもらえばよかったかわからなかった。
- ・DRの投票の際にPASSの制度がなくて会議の効率化のためだと理解していますが、他国の反応をみたい国々もあると思うのでPASSの制度はあったほうがよかったと思います。
- ・初心者議場には初めて参加する人たちが多く、会議の進行や文書の形式などへの理解が疎かなまま進んでしまったこと。経験者とやってからの利点もあると感じた。

#### 【交流会について】

- ・なかなかない機会が、最初は参加するか悩んでいましたが、すごく楽しかったです！参加して良かったです！
- ・議場ごとなのは良かったのですが少し時間が短く感じたので1つのグループから移動しない形がいいと思います。
- ・進行も面白く、全国の同年代と直接話すことができる体験は貴重で楽しかった。

#### 【今大会に関する感想】

- ・一般議場のみなさんの積極的な姿にとっても刺激を受けました。この2日間で得た学びを今後の模擬国連に活かしていきたいです！
- ・普段の生活では出会わないようなとてもアクティブで自立した高校生と触れ合うことができ強い刺激を受けました。国連に興味があったので、参加できてとてもよかったなと思います。
- ・初めての参加でしたが、意見を主張する大切さ、相手をリスペクトしながら議論する事、なにより世界の大使の行っている事を模擬とはいえ体験出来たのはとても貴重でした。本当に有難うございました。
- ・初めて経験者議場に参加しました。議論が白熱して自分たちの意見をあまり述べられなかったことが反省です。ですが、昨年は一個も決議されなかったが、今年は1つのDRが決議されたので良かったと思う。次出ることがあれば今回の反省を活かし、議場を引っ張る国になりたいなと思いました。
- ・対面会議で、フリードキュメントの使用ができない会議に参加したのが初めてで、制約された状況の中でどうしたら話し合いを効率的にできるか考えました。レベルが高く、上手いかなかったことばかりですが、その分沢山学ぶことができ楽しかったです。
- ・立場の異なる他国大使と対話を多く交わしたということに価値があると感じました。うまくいかなかったことも多かっただけに、また模擬国連に出場したい、またそこでもっとリーダーシップをとって効果的な話し合いがしたいという思いも生まれた大会でした。

## 大会事務局長より

### 「対話」の意義

第7回全国高校教育模擬国連大会 (AJEMUN) 大会事務局長  
公文国際学園中等部・高等部 米山 宏

みなさん、この度は第7回全国高校教育模擬国連大会 (AJEMUN) に参加いただき誠にありがとうございました。今大会は北は北海道、南は九州鹿児島まで全国津々浦々69校もの学校が集まって開催されました。第4回大会以降、コロナ禍によりイレギュラーな開催が続いていましたが、4年ぶりの完全対面会議が復活した形となり、また大きな混乱もなく大会が無事終了したことに主催者として大きく安堵しているところです。

さて、今回の議題は「教育」でしたが、いかがだったでしょうか。私が大会プログラムに記した通り、日本国内でも教育格差が話題にのぼることが多くなってきました。ましてや世界に目を向けると、ごく基礎的な教育であっても満足に受けられない子どもたちが数多く存在します。それだけにとどまらず、先進諸国であっても教育の質は常に問われ続けています。SDGsでも謳われる「質の高い教育」をみんなに届けることがいかに難しいことか、今回の会議の中で理解できたのではないのでしょうか。そうです、模擬国連の意義の一つがここにあります。閉会式でもお話させていただきましたが、徹底的なリサーチによって新しい世界が見えてくる、知らなかったことを知ることができる、それが若い皆さんに大いに必要だと感じていま

す。もうご承知かと思いますが、模擬国連では単に知るだけにとどまらず、その知識を駆使して担当国の立場(=自分とは違う視点)で地球的課題に挑んでいかねばならないのです。実は「教育の質」は多くの地球的課題の解決策へのキーワードになっていることは模擬国連の経験者なら誰でも感じていることだと思います。教育を語ることが即ち地球的課題の解決への第一歩となることに気付いたのなら意義ある大会だったといえるのではないのでしょうか。

大会直後のある新聞記事で哲学者の永井玲衣さんが対話の重要性について以下のような内容をコメントしていました。「対話は論破とは異なって相手や自分が『変わりうる』ことをどこかで握り合っている時間を共有している。それが対話の醍醐味である。」これを読んだときにまさに私は対面での模擬国連での重要性を再確認したのです。模擬国連では決して相手を論破するものではありません。対話することによってお互いに歩み寄ることができる。お互いを理解することができる。お互いが変わりうる前提で、お互いの事情を納得し合ってDRを書き上げなければなりません。対話という営みによって相互のリスペクトを産みだし、平和的な解決への道筋をつけることができる。そしてそれこそがまさに対話を中心とした交渉を重ねる模擬国連の専売特許であり醍醐味であるはずなのです。

開会式の基調講演でお話されたUNDPの小松原さんの「5つのP」とともに「国連は万能ではないが無能ではない」という言葉が私の心に突き刺さっています。みなさんには地球的課題を解決して恒久的な平和な世界を実現するためにも、国連の役割を信じてほしい。そしてそれをモデルする模擬国連活動がどんなに価値があり無能ではないことを自覚してほしい。この活動をもっともっと多くの若者に広げてほしい。ぜひ対話の力を通して、みなさんの手で国連の存在意義を具現化すべく平和な世界を構築してほしいと願っています。

最後にこの場をお借りして、大会にご協力いただいたすべてのみなさま、協賛・後援・助成いただいた企業・団体のみなさま方に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。これをもって今年の私の大会事務局長としての挨拶に代えさせていただきます。

# 参加校一覧

浅野高等学校  
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校  
茨城県立竹園高等学校  
桜蔭高等学校  
追手門学院大手前高等学校  
大妻高等学校  
お茶の水女子大学附属高等学校  
海城中学高等学校  
鹿児島情報高等学校  
神奈川県立厚木高等学校  
神奈川県立希望ヶ丘高等学校  
関西大学高等部  
岐阜県立岐阜高等学校  
岐阜県立多治見北高等学校  
公文国際学園高等部  
群馬県立中央中等教育学校  
佼成学園女子高等学校  
国際基督教大学高校  
駒場東邦高等学校  
済美高等学校  
酒田南高等学校  
札幌日本大学高等学校  
渋谷教育学園渋谷高等学校  
渋谷教育学園幕張高等学校  
嶋田学園飯塚高等学校  
淑徳高等学校  
昭和女子大学附属昭和高等学校  
市立札幌開成中等教育学校  
水城高等学校  
逗子開成高等学校  
聖ウルスラ学院英智高校  
清教学園高等学校  
成蹊高等学校  
青翔開智高等学校  
聖心女子学院

清泉女学院中学高等学校  
玉川学園高等部  
玉名女子高等学校  
中央大学杉並高等学校  
帝京高等学校  
田園調布学園高等部  
東京女学館高等学校  
東京都立武蔵高等学校  
東京農業大学第一高等学校  
東京農業大学第三高等学校  
徳島文理高等学校  
栃木県立佐野高等学校  
鳥取県立倉吉東高等学校  
鳥取県立鳥取西高等学校  
鳥取県立鳥取東高等学校  
鳥取県立米子東高等学校  
長野県長野高等学校  
名古屋高等学校  
新潟県立直江津中等教育学校  
西大和学園高等学校  
富士見丘高等学校  
松商学園高等学校  
三田国際学園高等学校  
宮城県仙台二華高等学校  
三輪田学園高等学校  
茗溪学園高等学校  
八千代松陰高等学校  
山形県立山形東高等学校  
山形県立米沢興譲館高等学校  
山脇学園高等学校  
横浜共立学園高等学校  
横浜翠陵高等学校  
ラ・サール高等学校  
立教女学院中学校・高等学校

計69校

# 大会実行委員一覧

## 【実行委員長】

谷田 そよ（渋谷教育学園渋谷高等学校）

## 【運営受付セクション】

宮山 祥（逗子開成高等学校）

菊地 実咲（公文国際学園高等部）

峯田 眞奈（茗溪学園高等学校）

八木 みなみ（三輪田学園高等学校）

森 彩葉（公文国際学園高等部）

丹沢 まどか（茗溪学園高等学校）

進藤 虎太郎（帝京高等学校）

## 【フロントセクション】

金子 瑞紀（大妻高等学校）

作村 璃乃（岐阜県立岐阜高等学校）

今寺 玲菜（聖心女子学院高等科）

中原 由寿栳（中央大学杉並高等学校）

中村 向我（桐蔭学園中等教育学校）

丁 思允（さいたま市立大宮国際中等教育学校）

依田 葉月（茗溪学園高等学校）

近藤 彩叶（聖心女子学院高等科）

松浦 唯夏（帝京高等学校）

安藤 諒（岐阜県立岐阜高等学校）

延山 星利奈（帝京高等学校）

藤木 惺也（浅野高等学校）

室井 幸（聖心女子学院高等科）

奥島 誉陽（帝京高等学校）

糸井 菜々穂（茗溪学園高等学校）

## 【BG担当】

三澤 日和（成蹊高等学校）

山盛 真椰（田園調布学園高等部）\*フロント兼任

森地 陽菜（さいたま市立大宮国際中等教育学校）\*フロント兼任

## 【広報セクション】

多胡 七香（渋谷教育学園渋谷高等学校）

北風 友紀乃（田園調布学園高等部）

森 陽菜（酒田南高等学校）

ジャン 江素麻（茗溪学園高等学校）

根来 夏美（茗溪学園高等学校）

山口 小晴子（田園調布学園高等部）

太字はセクションリーダー

## 【大学生サポートスタッフ】

中島 大雅（東京大学文科一類1年）

西部 陽菜（成蹊大学法学部政治学科3年）

持田 隼人（東京大学文科一類2年）

妻鹿 涼介（Carleton College 2年）

上野 蘭晶（Wesleyan University Government/Science in Society Program 卒業）

江口 かのん（東京大学文科一類1年）

坂崎 遼太郎（Haverford College/Liberal Arts 1年）

頼所 凜花（コロンビア大学バーナードカレッジ政治学部・人権学部4年）

# 大会役員一覧

## 【大会事務局長】

米山 宏(公文国際学園中等部・高等部)

## 【運営受付セクション】

岡 祐司(渋谷教育学園渋谷中学・高等学校)

内田 美穂(三輪田学園中学・高等学校)

## 【フロントセクション】

関 孝平(大妻中学・高等学校)

飯島 裕希(お茶の水女子大学附属高等学校)

後藤 芳文(玉川学園高等部)

竹林 和彦(早稲田実業学校)

藤山 由彦(駒場東邦中学校・高等学校)

室崎 撰(渋谷教育学園渋谷中学・高等学校)

## 【広報セクション】

宮坂 武志(浅野中学・高等学校)

三浦 佳奈(富士見中学校高等学校)

## 【BG担当】

齊藤 智晃(渋谷教育学園幕張中学・高等学校)

松永 啓佑(江戸川学園取手中学校・高等学校)

## 【事務局スタッフ】

粕谷 健翔(慶應義塾大学法学部政治学科4年)

根岸里帆(慶應義塾大学法学部政治学科2年)



実行委員のみなさん

# 後援・協賛企業一覧

---

## 【主催】

全国中高教育模擬国連研究会(全模研)

## 【後援団体】(順不同)

文部科学省

外務省

日本私立中学高等学校連合会

全国都道府県教育委員会連合会

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

国連広報センター

公益財団法人 日本国際連合協会

公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター

東京都教育委員会

## 【協賛企業】(順不同)

(株)ベネッセコーポレーション

実教出版 株式会社

(株)第一学習社

(株)帝国書院

公文教育研究会

## 【助成】

公益財団法人 公文国際奨学財団

## 【協力】

理想科学工業株式会社

# 次年度大会のご案内

---

次年度の第8回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)についてご案内いたします。  
皆さま是非ご参加ください。

開催日時:2024年8月6日(火)、7日(水)

開催場所:国立オリンピック記念青少年総合センター

※予定は変更になる場合があります。

